

目指す姿	
【運営理念】学びに出会う機会と学習成果をいかす機会を提供するための中核施設を担います	
【目指す姿1】 市民がいつでもどこでも学ぶための情報を得ることができる環境がある	
【目指す姿2】 多様な市民が地域や時間の制約なく学んでいる	
【目指す姿3】 市民が学んだ知識を自身の生活に活かすことができている	

役割1 学びの裾野を広げる					
取組名	取組内容	具体的な見直し内容	ターゲット層	計画上の2024年度予定	2024年度の取組
取組1-1 ◇学びの入口の充実	①学びのきっかけとなるような入門講座の実施	・他部署との重複事業を整理し、役割に合せて事業を体系化します。 ・市民大学、ことぶき大学、家庭教育支援事業は、【役割3:学びを深め、活かす】事業との整理を行います。 ・学びに出会う「きっかけづくり」に重点を置き、入門講座の充実をはかります。	原則として18歳以上の全市民	実施	○市民大学 入門的な内容を充実させる、講座の実施回数をコンパクトにする等の検討を進め、より多くの方々に興味を持ってもらえるようなカリキュラムに見直します。 ○ことぶき大学 ことぶき大学としての事業は実施せず、他の講座事業と合わせて再構築の検討を進めます。 ○平和祈念事業 2023年度と同規模の事業を実施します。 ○団体等共催講座 2023年度に引き続き各団体等との共催講座を実施します。講座の内容については、他の講座事業と合わせて検討を行います。
	②若者・生産年齢層向け事業の推進	・若者等のニーズを聞く機会を創出し、若者向け企画を検討・実施します。 ・30歳代から50歳代の利用につながる学びを提供します。 ・事業へのインターンやボランティアとしての関わり方を検討します。	18歳以上の若年層、生産年齢層	2025年度実施に向け検討	○アンケート及びヒアリング結果の分析 2023年度中に実施するアンケート及びヒアリング結果を分析し、ターゲット層の興味関心を引く講座の内容や実施手法を検討します。
	③アウトリーチの拡充	・市民センター、コミュニティセンター、図書館等を活用し、事業の地域展開を推進します。	生涯学習センターに来にくい方	拡充	○各講座でのアウトリーチやオンライン化の検討 2024年度下期に予定している生涯学習センターの中規模修繕期間中も講座事業を継続するために、市民大学等の各講座について、アウトリーチやオンライン化を検討します。

役割2 誰もが学べる環境をつくる					
取組名	取組内容	具体的な見直し内容	ターゲット層	計画上の2024年度予定	2024年度の取組
取組2-1 ◇学びのセーフティネットの充実	①障がい者青年学級の再構築	・生涯学習センター運営協議会で関係者等からの意見聴取を実施します。 ・再構築に向け、持続可能な仕組みを検討します。	学ぶことに支援が必要な方	2028年度実施に向け検討	○障がい者青年学級 本事業がより多くの方に届くとともに持続できる仕組みへの再構築に向けた検討を行います。
	②学習支援事業の再構築	・支援が必要な方及び他機関の学習支援情報を把握し整理します。 ・再構築に向け、事業を見直し、必要に応じた支援事業を検討します。	16歳以上の市民	2026年度実施に向け情報収集	○まなびテラス 2024年度下期に予定している生涯学習センターの中規模修繕期間中の対応方法について、支援者と情報交換を行いながら検討を行います。また、支援者との意見交換や関係機関へのヒアリング内容等を踏まえて、学習支援事業に係る再構築の検討を進めます。
	③デジタルデバйд対策の拡充	・事業を継続し、拡充するための方策を検討します。 ・ICTリテラシー講座を検討します。	高齢者層中心	基礎的講座継続、活用講座実施	○なんでもスマホ相談 都補助金の適用が2023年度で終了するため、事業内容や開催頻度の見直しを行います。また、新たな補助金の活用や補助金以外の仕組みの活用を模索し、事業水準を維持できるよう検討します。
取組2-2 ◇生涯学習情報のデジタル化の推進	①情報提供のデジタル化	・生涯学習NAVIの情報を整理し、デジタルで利用しやすくします。 ・多様な主体の生涯学習情報を収集し、データベース化して、情報提供します。	新たな利用者	情報の整理、手法の検討	○生涯学習NAVIの整理 生涯学習データベースの活用と併せ、生涯学習NAVIによる情報提供の仕組みを検討します。 ○生涯学習情報のデータベースの提供方法の検討 2023年度からデータの蓄積を始めた情報の提供方法について、検討します。
	②講座事業のデジタル化	・オンライン配信講座を実施し、拡充します。 ・講座ごとにデジタル化、アーカイブ化を検討します。 ・サテライト会場等での上映を検討します。 ・効果的な利用方法を検討します。	新たな利用者	2025年度実施に向け検討	○各講座でのアウトリーチやオンライン化の検討 2024年度下期に予定している生涯学習センターの中規模修繕期間中も講座事業を継続するために、市民大学等の各講座について、アウトリーチやオンライン化を検討します。
取組2-3 学習相談の充実	①学習相談コーディネーター制度の導入	・一般的な学習相談に対応するため、窓口学習相談員を設置します。 ・他機関との連携が必要となる高度な学習相談に対応するため、コーディネートチームを設置します。	もっと学びたい方	設置	○窓口相談員の配置の継続 2023年度から設置した窓口相談員の配置を継続します。 ○コーディネートチームの設置 現在、試行しているコーディネートチームの運用方法を検証し、改善していきます。

役割3 学びを深め、活かす					
取組名	取組内容	具体的な見直し内容	ターゲット層	計画上の2024年度予定	2024年度の取組
取組3-1 ◇地域での学びの拡充	①市民大学の再構築	・市民大学の各講座を、【役割1:学びの裾野を広げる】事業との整理を行い、課題解決型・人材育成型に再構築します。 ・プログラム委員制度を見直し、市民ニーズを収集する仕組みを整えます。 ・修了生団体の育成に主眼を置いた制度へ移行します。	地域で活動する方	市民意見の反映手法の見直し	○市民大学 福祉講座や環境講座については、実践や体験を通じて、地域で活躍する人材育成につながるようなカリキュラムを検討します。 ○探・探ゼミナール 2023年度に引き続き、受講生の自発的な学習を支援します。
	②講座づくり★まちチャレの再構築	・多くの方が活用できるよう、保育付きや若者を対象とするなどの検討を行います。 ・選定基準を見直すなど、仕組みを再構築します。	地域で活動する方	選定基準等の見直し	○選定基準等の見直し 市民大学等、他の市民企画・参画型講座との関係性を整理しながら、再構築の検討を進めます。 また、2023年度までは生涯学習推進計画により講座数を増やしてきましたが、2024年度からは他の講座とのバランスを鑑みて募集講座数を決定します。
	③地域連携講座の新設	・地区協議会、町内会、自治会、など地域組織と連携して、講座を実施します。 ・アウトリーチによる身近な学びを推進します。	地域で活動する方	新たな連携先開拓に向けた検討	○既存事業の継続と新たな連携先開拓に向けた検討 アウトリーチ事業のひとつとして、2023年度に引き続き鶴川地区協議会との共催講座を実施しながら、新たな連携先の開拓に向けた検討を行います。
	④家庭教育支援事業の再構築	【役割1:学びの裾野を広げる】事業との整理を行い、学びを深める内容に再構築します。 ・地域での子育て世代に向けた学びの場を拡充します。 ・ひろば事業を縮小します。	子育て世代	再構築した仕組で地域開催	○再構築した仕組での事業実施 市長部局を含め、他部署と重複している事業をスリム化し、生涯学習センター独自で行っている事業内容を充実させます。

取組名	取組内容	具体的な見直し内容	ターゲット層	計画上の2024年度予定	2024年度の取組
役割4 学びのネットワークづくりを促進する					
取組名	取組内容	具体的な見直し内容	ターゲット層	計画上の2024年度予定	2024年度の取組
取組4-1 ◇学びのネットワークづくりの促進	①ボランティアバンクの再構築	・利用促進に向けて検討します。 ・活動支援として研修制度を導入します。 ・学校運営協議会向け冊子を作成し配布します。 ・学校教育部との連携により、各学校やコミュニティスクールでの活用を推進します。	学びの場を作りた方・学びの成果を活かしたい方	再構築した仕組みで実施	○登録者向け指導スキル向上研修の実施 2023年度下半期から、生涯学習ボランティアバンク登録者向けに指導スキル向上研修を実施し、利用者からの信頼性向上に努めます。2024年度以降も定期的な実施を予定しています。
	②他機関との連携強化	・定期的な生涯学習情報収集の仕組みを作ります。 ・コーディネートチームによる連携先の開拓を行います。 ・他機関と連携することで、【役割1: 学びの裾野を広げる】、【役割2: 誰もが学べる環境をつくる】に属する事業を拡充します。 ・生涯学習センターを庁内他部署が公的利用する際の連携を強化します。	新たな利用者	構築した仕組みで実施・連携先の開拓	○相模原・町田地域教育連携プラットフォームの設置 町田市と相模原市に所在する大学等8校、町田市、相模原市、町田商工会議所、相模原商工会議所が参加するプラットフォーム組織の設置準備を2023年度に行いました。2024年度から産官学が連携し、市民の学習・教育機会の充実や地域貢献活動などに取り組めます。
	③リカレント・リススキル教育情報の整理・提供	・大学等との連携による社会人の学び直しにつながる情報の収集・整理・提供を行います。	新たな利用者	2025年度実施に向けた検討	○リカレント・リススキル分野の講座実施 相模原・町田地域教育連携プラットフォームの枠組を用い、リカレント・リススキル教育の推進を進めていきます。
取組4-2 学習成果の還元	①センターまつり・ガクマテEXPOの再構築	・開催方式を再検討します。 ・成果発表の場を拡充します。	団体活動者 利用が少ない世代	2025年度実施に向けた検討	○開催の時期、方法の検討 2024年度下期に予定している生涯学習センターの中規模修繕を踏まえ、開催の時期、方法の検討を行います。
	②修了団体支援の構築	・公平な支援ルールを整備します。 ・修了生団体活動のPRにつなげます。	団体活動者	支援制度の構築・実施	○修了者団体支援の継続 市民大学修了者団体の冊子を更新することにより、団体活動のPRを行います。

管理運営体制の見直し					
取組名	取組内容	具体的な見直し内容		計画上の2024年度予定	2024年度の取組
取組5-1 運営手法の見直し	①業務委託範囲の拡大	<導入事業の考え方> ・【役割1: 学びの裾野を広げる】【役割2: 誰もが学べる環境をつくる】うち、民間のノウハウを活かせる事業を業務委託します。 ・【役割1: 学びの裾野を広げる】取組1-1①、【役割2: 誰もが学べる環境をつくる】取組2-1③、取組2-2①②は原則業務委託とします。 ・【役割2: 誰もが学べる環境をつくる】取組2-3①は一般的な学習相談部分を業務委託します。 ・【役割3: 学びを深め、活かす】取組3-1①④は業務を細分化して一部の工程を業務委託します。 <導入後> ・効果を検証後、導入範囲の拡大を検討します。		業務委託範囲の拡大	○業務委託対象事業及び範囲の決定 2023年度の検討結果を精査し、業務委託対象事業及び委託範囲を決定します。 ○事業者ヒアリングの実施 決定内容をもとに、実現性について、事業者に対しヒアリングを実施します。 ※2024下期～2025年度にかけて、施設の大規模改修のため、休館を予定していることから、拡大部分の業務委託の開始時期を休館明けに変更します。
取組5-2 組織体制の整理	①「全体計画立案機能」の生涯学習総務課との役割整理	・生涯学習総務課との役割を整理します。 ・必要に応じて組織改正を行います。 ・関係例規を改正します。		関係例規の改正	○生涯学習推進計画の業務移管 生涯学習推進計画を教育プランに統合し、生涯学習総務課へ業務移管します。
取組5-3 学びの場の整備	①施設名称の変更	・「町田市生涯学習センター条例」に一本化します。 ・愛称やネーミングライツなどの導入を検討します。		条例等の改正手続き	○施設名称についての検討の開始 2025年度の大規模改修明け時点での施設名称の一本化に向け、検討に着手します。
	②施設利用の促進	・若者向け利用促進策や減免制度の仕組みを構築します。 ・視聴覚室等を、学習スペースとして夜間開放できるよう仕組みを構築します。 ・保育室の利用率向上に向け、無料開放などの利用促進の仕組みを構築します。 ・館内Wi-Fiの利用ルールを再構築します。		条例等の改正手続き	○視聴覚室夜間開放、保育室開放の継続 2023年度下半期から新たに始めた視聴覚室の学習スペースとしての夜間開放、土日祝日中の保育室の交流・休憩スペースとしての開放を、施設開館中は継続します。
	③学校施設利用の促進	・町田第一中学校型学校施設利用制度の確立に向けた検討を行います。 ・個人向け学校利用の検証と再構築を行います。		再構築に向けた検討	○PRの促進 町田一中における利用制度のPRを進めます。 ○検証の実施 2023年度の通年実施結果を検証し、改善点の検討を行います。